

最近の出来事 (8月)

「看護学生向け就職情報ガイダンスいしかわ」に参加しました。

8月3日(月)、金沢市の県地場産業振興センターで行われた「看護学生向け就職情報ガイダンスいしかわ」に参加してきました。

当院のブースに来てくれた学生の皆さんに、当院や看護科の概要、教育方針、修学資金等の説明を行いました。



病院の行事 (9月)

灯りフェスタに参加しました。

9月13日(日)に行われた「港町 宇出津 灯りフェスティバル」の灯りコンテストに看護科が中心となって参加しました。



今年は13団体が参加した中で、4位という成績でした。来年はさらに多くの職員が参加し、交流を深めながらこのイベントを盛り上げられたらと思います。



病院の行事 (9月)

今年も病院フェスタを開催しました。

9月8日(火)に当院を会場に、「宇出津病院フェスタ～翔生 2015 秋～」が行われました。

これは病院が日常生活において身近な存在である事や、病院の役割・機能を知ってもらう事を目的として開催しており、今年で3回目となります。



1階ロビーでは「津軽三味線 藤声会」による三味線の披露や、フラダンスを講師の方と一緒に踊る運動コーナーが行われました。入院患者、職員らが一体となったイベントとなり、終始盛り上がったものとなりました。

その他に糖尿病予防に関する測定や検査、相談なども実施されました。多くの来場者で会場は賑わい、皆さんの健康への意識の高さが伺えました。



最近の出来事 (9月)

能登町総合防災訓練に参加しました。

9月27日(日)、大地震による津波被害を想定した能登町総合防災訓練が小木中学校を主会場に行われました。当院からも滝川院長らスタッフが参加し、災害時の備えを確認しました。



今回の訓練能登半島沖で地震が発生し、大津波警報が発令されたという想定で行われ、当院スタッフは倒壊した建物や車の中に閉じ込められた重症患者の診療を担当しました。

災害時の医療救護活動において、中心的な役割を担う病院として、万が一に備えた訓練が出来たのではないのでしょうか。

理念 「笑顔で心のこもった良質な医療サービスの提供」

基本方針

- ・地域住民の人々に信頼される病院を目指します
- ・よりよい接遇と思いやりのある病院を目指します
- ・質の高い医療を提供できる病院を目指します



病院の行事（9月）

体育大会に参加しました。

9月27日（日）、第20回石川県国保直営病院職員体育大会が宝達志水町を会場に開催されました。競技はソフトボールと卓球が行われ、当院はソフトボールの部で小松市民病院Aと対戦し、1対11で敗れ、1回戦敗退となりました。



結果は決して良いものではありませんでしたが、得点が入った場面や好プレーなどには歓声が起るなど、職員間の交流を図られた良い機会となりました。また、試合を通して病院間の連携にも繋がったのではないかと思います。

来年は能美市で行われる予定です。

病院の出来事（10月）

「命のキャラバン」来院

10月1日（木）、腎臓に病気を抱える方やその家族で構成される石川県腎友会が、臓器移植をより普及させようと宇出津総合病院を訪れました。

腎友会のみなさんは「命のキャラバン運動」として臓器全般の移植の推進を目指し、県内の医療機関などに出向いています。この日は森田一郎会長から廣正修一助院長に、より一層の理解と協力をという石川県知事からのメッセージが送られました。



その後の会合では、社会的な認知度の高まりも重要だが、医療スタッフのみなさんの応援が何よりも大切だという話がなされました。

診療にかかるお知らせ(10月～)

- ・毎週木曜日の耳鼻咽喉科の診療担当が辻先生から笠原先生に変更になりました。
- ・毎週月曜日の眼科の受付時間が11時30分までに変更になりました。
- ・皮膚科の望月教授の診察日が毎週木曜日から第1・3・5週の木曜日に変更になりました。

病院の出来事

1階ホールに外来患者様用の貸出ロッカーを設置しました。

1階ホールに外来患者様用の貸出ロッカーを設置しました。ご利用は無料ですので、ご希望される方はお気軽に総合受付窓口までお申し出ください。



1) 使用時間

平日 … 8:30 ~ 17:00

※ 外来休診日は、原則ご利用いただけませんので、ご了承ください。

2) ご利用方法

- ・総合受付窓口で、ご利用の旨お申し出ください。
- ・利用中は、鍵をかけ、総合受付窓口鍵を預けてください。
- ・利用後は、総合受付窓口から鍵をもらい、荷物を取り出し、鍵をお返しください。

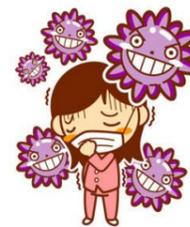
秋から冬にかけて流行する病気について

暑い夏が終わり、涼しくなると過ごしやすい秋の季節となります。しかし、この時期は急な冷え込みがあったり、季節の変わり目で体調を崩しやすい時期で油断は禁物です。また、秋だけでなく、冬にかけても特有の病気や感染症に注意をしなければなりません。とりわけ高齢者や子供は免疫力が弱いので注意が必要です。そこで、今回は、秋から冬にかけて注意しなければならない、病気や感染症についてあげてみました。

【①食中毒】

食中毒は暑い夏に起こりやすいのでは！？そう思う人も多いかもしれませんが、実は10月が1番発生件数が多いのです。食べ物が腐ることによって起こると思いがちかもしれませんが、秋から冬にかけては、キノコやフグに含まれる食べ物による食中毒が生じることが多くなってきます。この時期に多いものは魚類などに含まれる腸炎ビブリオ菌やウェルシュ菌です。秋は屋外でのイベントが多いので、衛生面の管理が非常に重要です。怪しいものは食べないことが最大の予防となります。

【②RSウイルス】



RSウイルスによる感染症です。あまり聞き覚えがないかもしれませんが、1歳までに約70%、2歳までに100%の子供がかかると言われるほど、ありふれた感染症です。10月以降に湿度が低下し、昼夜の気温差も大きくなると、空気の対流が悪くなります。その影響によって、汚れた空気が停滞し、呼吸器系の疾患が発症しやすくなります。その中でも特に気管支喘息の発作が起きる人が多いです。もともと喘息持ちのお子様は早めに耳鼻咽喉科などで予防薬を処方してもらったほうが良いでしょう。症状は、発熱を生じ、呼吸がゼーゼーとつらくなります。重症の場合は、入院が必要な場合もあるので注意が必要です。大抵の乳児の体調不良はこの感染症であることが多く、兄弟などがかかっている場合が非常に多いそうです。予防はとにかく手洗いやうがいをするので対策を行いましょう。